

《浄土真宗》

浄土真宗では「南無阿彌陀佛」、または「俱會一處」と刻みます。

「俱會處」とは、「浄土の仏・菩薩たちと一處で出会うことができる」ということを意味しています。

俱會一處

南無阿彌陀佛

《禅宗（臨済宗・曹洞宗）》

禅宗では「南無釋迦牟尼佛」もしくは、正面頂部に○（円相）を刻み、○○家先祖代々」とします。

円相は禅宗で悟りの象徴として描く丸い形で、心性の完全円満を表しています。

○○家先祖代々

南無釋迦牟尼佛

《日蓮宗》

日蓮宗では、髭題目で「何妙法蓮華經」、正面頂部に妙法を刻む場合は、○○家先祖代々」とします。

妙法とは「法華經」の教えのことで、最もすぐれた正しい仏の教えを意味しています。

妙法○○家先祖代々

南無妙法蓮華經

《浄土宗》

浄土宗では「南無阿弥陀佛」、正面頂部に梵字を入れる場合は「〇〇家先祖代々」とします。
梵字は阿弥陀如来を表す「ヤリーク」を入れます。

●〇〇家先祖代々

南無阿弥陀佛

《天台宗》

天台宗では「南無阿弥陀佛」、梵字を入れる場合は「〇〇家先祖代々」とします。

梵字は、阿弥陀如来を表す「ヤリーク」もしくは、大日如来を表す「ア」を入れます。

正面頂部に「または、「と刻み、〇〇家先祖代々」とします。

●〇〇家先祖代々

●〇〇家先祖代々

南無阿弥陀佛

《真言宗》

真言宗では「南無大師遍照金剛」、正面頂部に梵字を入れる場合は「○○家先祖代々」とします。
梵字には大日如来を表す「ア」を入れます。

●○○家先祖代々

南無大師遍照金剛

《神道》

○○家奥都城・奥津城・奥城とありどれでも構わないとされています。
奥津城（おくつき）とは神道で「○○家之墓」と同じ意味を表しています。

○○家奥都城